

A-1 主題設定の理由

【主題・副題の設定理由】

昨年度一年間の同研究主題・副題の取り組みにより、少しずつだが成果と課題が明らかになってきた。成果としては、課題解決にあたり、既習内容や生活経験とつなげて考えたり、自分の考えを図や表、グラフを用いてわかりやすく説明しようとしたりするなど、つなげて、考え、説明する子どもの姿が見られるようになってきた。年3回実施した「活用に関する意識調査」の結果からは、大きな意識の変容は見られなかったが、年間を通して実施してきた市販や自作による活用力テストでは、記述問題にもがんばって書こうとする様子（無解答率の低下）が見られるようになってきた。また、授業においても、自分の考えに理由や根拠を示しながら説明しようとする子どもが増えてきた。

一方で、考えたり説明したりする意欲が高まらず、友だちやグループの中で自分の考えをすすんで話せない子どもやどのように考えたり説明したりすればよいか戸惑っている子どもの姿も見られた。つなげて、考え、説明できるようになっていく子どもたちとの二極化が目立ってきたともいえる。その原因としては、学習意欲の低下や集団との関わり、学び方のスキル不足などがあげられる。その改善策として考えられるのは、一つ目に「課題設定の仕方」や「相手・目的意識の具体的設定」等による考えたり説明したりする意欲づけの工夫が考えられる。二つ目には、学習形態の工夫による発表の機会に充実があげられる。これらはもちろん普通の授業の中での積み重ねが大切であり、学習の場全体を通した全教科での取り組みが必要となってくる。

今年度より移行期間となる新学習指導要領においても、思考力・判断力・表現力等の育成や言語活動の充実が重視されている。本校においても、言語活動の充実を通して全教科に取り組みを広げながら、活用力の意欲面にも取り組みの重点をおき、昨年度の課題をいかしたさらに効果的な活用力向上の具体策を探っていきたいと考える。